

執筆者紹介（執筆順、*は編者）

* 岡野友彦（おかの・ともひこ） はしがき、第1～6章、第9章、あとがき、関係年表

1961年 神奈川県生まれ。
1989年 國學院大學大学院文学研究科博士課程後期単位取得退学。博士（歴史学）。
現在 皇學館大学文学部教授。
著作 『家康はなぜ江戸を選んだか』 教育出版、1999年。
『中世久我家と久我家領荘園』 続群書類従完成会、2002年。
『源氏と日本国王』 講談社現代新書、2003年。
『北畠親房——大日本は神国なり』 ミネルヴァ書房、2009年。
『院政とは何だったか——「権門体制論」を見直す』 PHP 新書、2013年。
『戦国貴族の生き残り戦略』 吉川弘文館、2015年。
『源氏長者——武家政権の系譜』 吉川弘文館、2018年。
『中世伊勢神宮の信仰と社会』 皇學館大学出版部、2021年。

多田實道（ただ・じつどう） 第7章

1970年 岐阜県生まれ。
1999年 皇學館大學大学院博士後期課程満期退学。
2006年 愛知学院大学大学院博士課程前期修了。博士（文学）。
現在 皇學館大学文学部教授、三重県度会郡玉城町・廣泰寺住職。
著作 『紀伊半島東部曹洞宗史研究』 山喜房佛書林、2008年。
『伊勢神宮と仏教——習合と隔離の八百年史』 弘文堂、2019年。

伊藤裕偉（いとう・ひろひと） 第8章

1965年 三重県生まれ。
2003年 三重大学大学院人文社会科学研究科修了。博士（文学）。
現在 三重県総合博物館主幹（学芸員）。
著作 『中世伊勢湾岸の湊津と地域構造』 岩田書院、2007年。
『聖地熊野の舞台裏』 高志書院、2011年。
『豊臣政権と熊野の城』 吉川弘文館、2026年。

竹田憲治（たけだ・けんじ） 第10章

1963年 三重県生まれ。
1985年 皇學館大学文学部国史学科卒業。
現在 津市教育委員会会計年度任用職員。
著作 『多気北畠氏遺跡発掘調査報告1・2』 美杉村教育委員会、1997年、1998年。
『史跡赤木城跡保存整備事業報告』 紀和町教育委員会、2005年。
『三重県指定史跡 津城跡（第6次）発掘調査報告』 津市教育委員会、近刊。